

Ⅱ 令和5年度当初予算の主な施策

※令和4年度2月補正予算で計上した事業も一部含めて記載しています。

1 危機管理体制の構築と安全の確保

(1) 感染症等健康危機への対応力強化

- 令和5年度も、新型コロナウイルス感染症対策として、患者受入のための病床や宿泊施設の確保、臨時医療施設の運営、自宅療養者の支援、入院医療費の公費負担、検査・搬送・ワクチン接種体制の確保、医療機関の設備整備、保健所の体制強化など、必要な経費を計上します。
- 以上の感染症対策経費については、今後の状況が不透明なため、約半年分を計上しています。今後、状況を見定めながら、必要に応じ補正予算等を検討していきます。

<主な事業>

・感染症患者受入れのための空床確保等事業	47,337,000千円 (別冊 1頁)
・夜間・休日における患者受入体制の整備	328,000千円 (別冊 2頁)
・軽症者等のための宿泊施設確保事業	16,760,000千円 (別冊 3頁)
・臨時医療施設整備運営事業	3,000,000千円 (別冊 4頁)
・自宅療養者支援事業	3,268,000千円 (別冊 5頁)
・新型コロナウイルス相談センター（千葉県発熱相談コールセンター）運営事業	690,000千円 (別冊 6頁)
・入院医療費等の公費負担	3,651,000千円 (別冊 7頁)
・検査体制の確保	4,615,000千円 (別冊 8頁)
・搬送体制の確保	1,685,000千円 (別冊 9頁)
・ワクチン接種体制の確保	5,760,000千円 (別冊 10頁)
・医療機関等における設備整備	2,050,000千円 (別冊 11頁)
・保健所体制強化事業	1,260,000千円 (別冊 12頁)

(2) 災害から県民を守る「防災県」の確立

- 市町村における自助・共助の取組強化や災害対応のデジタル化を推進するため、従来の補助制度の内容を見直した**千葉県地域防災力充実・強化補助金**により、令和5年度から7年度までの3年間で集中的に市町村の取組を支援します。
- 市町村向けの運用が開始された**津波浸水予測システム**を活用し、的確な救助活動に繋げるため、関係市町と連携した**防災訓練**を実施します。
- 地域防災力を支える将来の担い手を育てるため、**小学校**の授業で活用する**防災教育の副読本**を作成します。
- 令和8年度の**地震防災戦略**の改訂に向け、**地震被害想定調査**に着手します。
- 災害発生時の情報伝達・収集体制を強化するため、老朽化した**防災行政無線**や**消防救急無線**を更新するとともに、**消防ヘリコプター**による広域的な情報収集体制を構築するほか、**小規模河川**における**危機管理型水位計**や**河川監視カメラ**の設置を進めます。

<主な事業>

・千葉県地域防災力充実・強化補助金	250,000千円 (別冊 13頁)
・防災訓練事業【一部新規】	30,000千円 (別冊 14頁)
・学校における防災教育の充実【新規】	6,000千円 (別冊 15頁)
・地震被害想定調査【新規】	16,700千円 (別冊 16頁)
・防災行政無線再整備事業	2,187,994千円 (別冊 17頁)
・消防救急無線再整備事業【新規】	48,000千円 (別冊 17頁)
・消防ヘリコプターによる情報収集体制の強化【新規】	70,000千円
・危機管理型水位計や河川監視カメラの増設	80,000千円 (別冊 18頁)

(3) 防災基盤の整備

- 一宮川流域浸水対策については、中流域の護岸法立や第二調節池の増設などを進めるとともに、上流域や支川の浸水対策にも取り組みます。
- また、河道拡幅などの河川改良や護岸改修などの海岸保全施設整備を拡充するほか、土砂災害対策や農地防災対策も強化します。
- 盛土規制法の施行に伴う新たな規制区域の指定に向け、基礎調査を行います。
- 今後改修時期を迎える県庁舎について、整備手法を検討するため、老朽化調査等を行います。また、老朽化が著しい各地域の合同庁舎等について、集約化して再整備するため、工事や設計を進めます。
- 家畜伝染病に対する防疫体制を強化するため、老朽化している東部家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所及び中央家畜保健衛生所佐倉支所を移転集約化し機能強化を図る工事を進めます。

<主な事業>

- ・ 一宮川流域浸水対策特別緊急事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ）
9,912,200千円（別冊 19頁）
（債務負担行為 1,690,000千円）
- ・ 河川・海岸・砂防事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ） 38,289,040千円（別冊 20頁）
（債務負担行為 8,434,000千円）
- ・ 農地防災事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ） 3,665,148千円（別冊 21頁）
（債務負担行為 1,287,000千円）
- ・ 盛土規制法に基づく新たな規制区域の指定【新規】 126,000千円（別冊 22頁）
- ・ 県庁舎等再整備事業【新規】 16,500千円（別冊 23頁）
（債務負担行為 39,000千円）
- ・ 山武合同庁舎再整備事業 2,233,000千円（別冊 24頁）
（債務負担行為 6,000千円）
- ・ 夷隅合同庁舎再整備事業 1,915,000千円（別冊 24頁）
- ・ 安房地域合同庁舎再整備事業 223,000千円（別冊 24頁）
（債務負担行為 675,000千円）
- ・ 海匝地域合同庁舎再整備事業 133,000千円（別冊 24頁）
（債務負担行為 174,000千円）
- ・ 家畜保健衛生所機能向上事業 466,297千円（別冊 25頁）
（債務負担行為 428,000千円）

(4) 暮らしの安全・安心の確保

- 後を絶たない**電話 d e 詐欺**の防止対策として、**高齢者安全対策アドバイザー**を配置し、戸別訪問による防犯指導に取り組みます。
- 地域に自主的な防犯活動が定着するよう、**市町村**における**防犯アドバイザー**の配置に対し支援します。
- **110番通報**に迅速に対応するため、警察官を現場に急行させる**通信指令システム**を更新します。
- **飲酒運転の根絶**に向け、あらゆる機会を活用した**広報啓発**を行うとともに、**飲酒運転根絶条例の改正**に伴い新たに罰則が設けられたことなどについて**周知**を強化します。
- **通学路の緊急点検**の結果を踏まえ、歩道整備や信号機の新設・改良等の予算を増額し、引き続き**通学路の安全対策**を強化します。また、横断歩道上の交通事故を防止するため、**広報啓発と取締りの両輪**により「**ゼブラ・ストップ活動**」の周知徹底に取り組みます。
- 消費生活相談の充実を図るため、**県消費者センター**において**電子メール**による相談を始めるとともに、成年年齢の引下げを踏まえ、**消費者トラブル**に関する**若者向け映像教材**を作成します。
- **靈感商法**を含めた**悪質商法の被害防止**のため、消費者に向けた**広報啓発**や消費生活相談員に対する研修を行います。
- 性犯罪・性暴力被害者の方に対し迅速かつきめ細かな支援を行うため、**ワンストップ支援センターの電話相談**を**24時間・365日**の対応に拡充します。

<主な事業>

・「電話 d e 詐欺」被害防止広報・啓発事業【一部新規】	127,849千円 (別冊 26頁)
・地域防犯力・コミュニティ力向上事業【一部新規】	86,000千円 (別冊 27頁)
・通信指令システムの更新【新規】	6,400千円 (別冊 28頁)
	(債務負担行為 2,687,000千円)
・飲酒運転根絶対策事業【一部新規】	22,436千円 (別冊 29頁)
・交通安全施設整備事業 (4年度2月補正・5年度当初あわせ)	10,763,401千円 (別冊 30頁)
	(債務負担行為 1,092,000千円)
・ゼブラ・ストップ活動啓発事業	21,000千円 (別冊 31頁)
・消費生活相談体制の充実・強化【一部新規】	80,275千円 (別冊 32頁)
・靈感商法等の悪質商法対策事業【新規】(4年度2月補正)	3,000千円 (別冊 32頁)
・性犯罪・性暴力被害者支援事業	29,733千円 (別冊 33頁)

2 千葉経済圏の確立と社会資本の整備

(1) 経済の活性化

<産業の振興と企業立地の促進>

- 働き方や産業の転換期を迎えている中、**将来を見据えた産業の誘致・創出**を図るため、成田空港周辺、かずさアカデミアパーク、幕張新都心、柏の葉、北千葉道路沿線、アクアライン着岸地周辺など、**本県経済を牽引していくことが期待される地域**について、現状や将来性、優位性などを調査します。
- **成田空港周辺地域**について、成田空港の更なる機能強化を最大限生かした地域の活性化に向け、**脱炭素地域づくりや産業形成、地域資源を活かした魅力的な都市形成**などを検討します。
- **成田国際空港**への**S A F**(※)の導入により、脱炭素社会の実現や本県経済の活性化を図るため、地域資源を活用した**S A Fのサプライチェーン構築の可能性**について調査を行います。
※S A F… Sustainable Aviation Fuel (持続可能な航空燃料) の略称で、木質系廃材や廃食油などを原料とし、通常の化石燃料よりも二酸化炭素排出量を削減できる航空燃料。
- **京葉臨海コンビナート**について、日本をリードする**カーボンニュートラルコンビナート**への転換を促進するため、立地企業等で設置した**協議会**を運営するとともに、業種を超えた**企業間連携プロジェクト**の推進に必要な調査を行います。
- **洋上風力発電**について、適地である**太平洋沿岸地域**において、地元の合意形成を図りながら**導入の検討**を進めるとともに、県内企業の洋上風力発電関連産業への参入を図る**マッチング商談会**等を引き続き実施します。さらに、洋上風力発電の導入を**関連産業の集積**など地域経済の活性化に繋げていくための**基礎調査**を行います。
- **新たなエネルギー**として期待される**水素**について、今後まとまった需要が見込まれる**物流・地域交通事業**の動向や効果的な供給方法などを**県内の複数地域**において調査します。
- **各地域における課題解決**に向け、様々な分野で中小企業や大学など多様な主体が連携して取り組む**実証実験**を支援します。
- 県内へ立地する企業等を支援する**立地企業補助金**について、近年の賃借立地ニーズの高まりを踏まえ、本社や研究所等の賃借での立地を対象とする「**賃借型**」の制度を創設します。

- **健康・医療分野のものづくり**を促進するため、中小企業と医療機関等のマッチングや製品開発の支援を引き続き行うほか、販路拡大につながる展示会への出展を支援します。
- **優秀な起業家**を育成していくため、起業家の発掘から経営支援まで一貫した支援を引き続き行うほか、**小中学生**を対象とした**起業体験**や**高校生・大学生**等を対象とした**ワークショップ**を開催します。
- **県内インキュベーション施設**に入居する、**革新的な技術を有するベンチャー企業**に対し、地域経済を牽引する企業へと成長を促すための**短期集中的な伴走支援**を行います。
- **優れた技術を有する中小・ベンチャー企業の販路拡大**を促進するため、国内外の展示会への出展や企業の開発部門とのマッチングに対する支援を拡充します。

〈主な事業〉

- ・本県における新たな産業・地域づくりに関する基礎調査事業【新規】
50,000千円（別冊 34頁）
- ・成田空港を活かした持続可能な地域づくり検討事業 30,000千円（別冊 35頁）
- ・千葉の地域資源を生かしたS A F導入可能性調査【新規】 10,000千円（別冊 36頁）
- ・カーボンニュートラルコンビナート事業【新規】 30,000千円（別冊 37頁）
- ・海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業【一部新規】
37,000千円（別冊 38頁）
- ・物流事業等における水素利活用モデル構築検討事業 30,000千円（別冊 39頁）
- ・地域課題解決型実証実験促進事業【一部新規】 51,200千円（別冊 40頁）
- ・立地企業補助金【一部新規】 1,083,300千円（別冊 41頁）
- ・健康・医療ものづくり推進事業【一部新規】 81,900千円（別冊 42頁）
- ・ちば起業支援事業【一部新規】 32,000千円（別冊 43頁）
- ・革新的ベンチャー企業成長促進プログラム事業【新規】 25,000千円（別冊 44頁）
- ・中小・ベンチャー企業技術交流促進事業 20,700千円（別冊 45頁）
- ・海外展開支援事業 26,430千円（別冊 46頁）

<中小企業・小規模事業者の経営基盤強化>

- 中小企業振興資金について、感染症対策に加え、今後の災害等の突発的な資金需要にも対応できるよう、必要額を計上します。
- 感染症の長期化や物価高騰等により厳しい経営環境が続いている中小企業を支援するため、伴走支援体制を強化します。
 - ・ チャレンジ企業支援センターの無料相談を引き続き実施します。
 - ・ 中小企業の事業承継を促進するため、専門家による訪問相談を拡充します。
 - ・ 事業再構築に取り組む中小企業に対し、専門家による伴走支援を拡充します。
- 中小企業と企業の成長に必要な人材をマッチングする「プロフェッショナル人材戦略拠点」について、小規模事業者への支援を充実するため、体制を強化します。さらに、小規模事業者への伴走支援の強化を図るため、身近な支援機関である商工会・商工会議所等が体制を充実させるための支援を行います。

<主な事業>

・ 中小企業振興資金	370,000,000千円 (別冊 47頁)
・ 中小企業のサポート体制の強化	216,884千円 (別冊 48頁)
・ プロフェッショナル人材戦略拠点事業	49,763千円 (別冊 49頁)
・ 小規模事業経営支援事業費等補助金	2,627,472千円 (別冊 50頁)

<雇用対策と人材の育成・確保>

- 感染症の影響から回復途上にある雇用状況を好転させるとともに、今後深刻化が見込まれる中小企業の人手不足に対応するため、各種支援策を充実します。
- 特に令和5年度は、「ジョブカフェちば」において、工業高校や高等技術専門校と中小企業のマッチングを促進するための体制を強化します。さらに、高等技術専門校の入校促進のため、訓練科の新設等に伴う施設整備を行うとともに、工業高校との共同パンフレットを作成するなど情報発信を強化します。
- また、多様な働き方を推進するため、女性や中高年齢者を支援する「ジョブサポートセンター」において、在宅ワーク希望者の就業支援など、新しい働き方のニーズに対応するための取組を拡充します。さらに、働き方改革やテレワークの導入に取り組む中小企業等に対しアドバイザーを派遣するとともに、特設ホームページを開設し、テレワーク可能施設の見える化など効果的な情報発信を行います。

<主な事業>

- ・ジョブカフェちば事業 147,641千円 (別冊 51頁)
- ・高等技術専門校の入校促進に向けた取組強化【一部新規】 995,991千円 (別冊 52頁)
(債務負担行為 379,000千円)
- ・千葉県ジョブサポートセンター事業【一部新規】 98,311千円 (別冊 53頁)
- ・ちばの「新しい働き方」推進事業【一部新規】 50,000千円 (別冊 54頁)

<観光立県の推進>

- 新しい旅のスタイルであるワーケーションについて、モニターツアーを通じた企業と受入地域のマッチングやPR動画による情報発信など、企業での制度導入を促進するための取組を拡充します。
- 国内外に本県の魅力を発信するため、観光プロモーションや教育旅行の誘致などに総合的に取り組みます。特に令和5年度は、観光情報サイトのリニューアル整備を行うほか、レンタサイクルを含めた県内周遊観光プロモーション、千葉県誕生150周年記念事業に合わせたデジタルポイントラリーなどに取り組みます。

<主な事業>

- ・ちばワーケーション受入促進事業 77,700千円 (別冊 55頁)
- ・観光プロモーション事業 223,939千円 (別冊 56頁)
- ・鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業 20,000千円 (別冊 57頁)
- ・GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業 50,000千円 (別冊 58頁)
- ・外国人観光客向けプロモーション事業 50,393千円 (別冊 59頁)
- ・訪日教育旅行誘致事業 40,639千円 (別冊 60頁)

(2) 農林水産業の振興

<次世代を担う人材の育成・確保>

- 次世代を担う人材を確保するため、**青年就農者**に対し**資金を交付**するとともに、就農者確保や就業環境改善の取組に対する支援を拡充するほか、本県の就農地としての魅力を発信するため、**民間情報サイト**を活用した情報発信を行います。
- 漁業の担い手確保のため、地域が行う先進的な就業者定着の取組を支援するとともに、令和5年度から就業に必要な**漁船等の導入支援**を行います。

<主な事業>

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ・新規就農者等に対する資金支援 | 718,168千円 (別冊 61頁) |
| ・新規就農者確保推進事業【新規】 | 7,500千円 (別冊 62頁) |
| ・農業雇用労働力対策事業【一部新規】 | 22,000千円 (別冊 63頁) |
| ・漁業の担い手確保・育成総合対策事業【一部新規】 | 94,199千円 (別冊 64頁) |

<農林水産業の成長力の強化>

- **農業、畜産業、水産業及び林業**の生産性の向上や作業の省力化を図るため、**スマート技術**を活用した取組に対する支援を拡充します。
- 国内外で需要が急拡大する**さつまいも**の生産・流通体制を強化するため、**さつまいもの生産拡大**に必要な**施設整備**を支援します。
- **飼料用米**の需要増に対応するとともに米価の安定を図るため、飼料用米等の**新規需要米への転作**を引き続き推進します。
- 経営の大規模化による生産性向上や担い手不足への対応を図るため、**農地中間管理機構**等を活用した**農地集積**への支援を拡充するとともに、農業者が**高収益化**を図るために行う**施設整備**等に対し引き続き支援します。
- 農業生産の省力化や廃プラスチックの排出量削減を図るため、土壌中で微生物により分解される**生分解性マルチ資材**の導入に対し、**3年間の集中的な支援**を行います。
- **輸入粗飼料の高騰**を受け、粗飼料自給率の向上を図るため、**飼料の生産面積拡大**につながる機械の導入や二期作・二毛作の実施を支援します。
- 乳牛の生産性向上を図るため、**ゲノム解析**を活用した**高能力牛の受精卵供給・利用**のモデル事業を行います。

- イノシシなど**有害鳥獣の被害防止**のため、捕獲事業や防護柵の設置に対する助成等を行います。また、本県の有害鳥獣対策やジビエへの関心を高め、**幅広い担い手の確保**につなげるため、捕獲体験や**ふるさと納税の寄附**などを通じて参加していただく「(仮称)千葉県有害鳥獣捕獲協力隊」を結成します。
- **都市部と森林地域の市町村**が連携して**森林環境譲与税**を活用した**森林整備**に取り組むモデル事業について、より広域のモデル地域を設定して実施します。
- **地域水産業**の活性化を図るため、漁業協同組合等が策定した「**浜の活力再生プラン**」に基づく収益向上のための**施設整備**を支援するほか、水産物の生産・流通機能の強化を図るため、令和5年度から**銚子漁港の整備**を加速化します。
- 老朽化している**水産総合研究センター**について、東京湾漁業研究所の大規模改修工事を進めるとともに、**種苗生産施設の再編整備**に向けた改修工事に着手します。

〈主な事業〉

・農林水産業におけるスマート化の推進【一部新規】	98,593千円 (別冊 65頁)
・さつまいも生産拡大緊急プロジェクト事業【新規】	100,000千円 (別冊 66頁)
・飼料用米等拡大支援事業	496,700千円 (別冊 67頁)
・農地集積加速化促進事業【一部新規】	657,086千円 (別冊 68頁)
・千葉県農産産地パワーアップ事業 (4年度2月補正・5年度当初あわせ)	706,500千円 (別冊 69頁)
・「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業	330,000千円 (別冊 70頁)
・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (4年度2月補正)	356,610千円 (別冊 71頁)
・生分解性マルチ緊急導入支援事業【新規】	6,000千円 (別冊 72頁)
・県産飼料自給体制整備事業【新規】	85,000千円 (別冊 73頁)
・高ゲノミック受精卵利用モデル事業【新規】	3,993千円 (別冊 74頁)
・野生鳥獣総合対策事業【一部新規】	692,761千円 (別冊 75頁)
・イノシシ等有害獣被害防止対策事業	393,172千円 (別冊 76頁)
・森林整備広域連携モデル事業	19,840千円 (別冊 77頁)
・浜の活力再生プラン推進支援事業 (4年度2月補正・5年度当初あわせ)	425,195千円 (別冊 78頁)
・漁港建設事業 (4年度2月補正・5年度当初あわせ)	5,834,195千円 (別冊 79頁)
・水産総合研究センター再編整備事業	242,930千円 (別冊 80頁)
	(債務負担行為 318,000千円)

<市場動向を捉えた販売力の強化>

- 県産農林水産物の魅力を消費者に浸透させ、需要の創出・拡大につなげるため、「千葉県の顔」となる品目を核とした**集中プロモーション**を行うことで、県産農林水産物全体の**イメージアップ**を図ります。
- 多彩な県産農林水産物をまとめてPRできる**新しい「千葉料理」**として考案した**「黒アヒージョ」**について、認知度向上やブランド化に向けた取組を行います。
- 県産農林水産物の**輸出**を促進するため、**成田市場**等と連携したプロモーション活動を行うとともに、輸入規制が緩和された**台湾への輸出拡大**に向けた現地プロモーションを実施します。

<主な事業>

- ・「おいしい！千葉の農林水産物」プロモーション事業【一部新規】
134,768千円（別冊 81頁）
- ・新しい千葉の食文化創生事業
30,000千円（別冊 82頁）
- ・県産農林水産物輸出促進事業
65,000千円（別冊 83頁）

(3) 社会資本の充実とまちづくり

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える**道路ネットワークの整備**を強力に進めます。

令和5年度は、**北千葉道路**をはじめ、アクセス道路や地域に密着した道路の整備を推進し、**銚子連絡道路横芝光町～匝瑳市間**と**長生グリーンライン長南町道～県道茂原大多喜線間**の供用開始を目指します。

また、**圏央道大栄～横芝間**の**令和6年度開通**に向けた整備を促進するほか、**通学路の安全対策**に引き続き取り組みます。

- 物流拠点としての港湾機能を強化するため、**千葉港千葉中央地区埠頭の再編整備**に引き続き取り組みます。また、洋上風力発電施設の受入れのための**名洗港**の改修工事や**千葉港海岸船橋地区**の国直轄による浸水対策を進めます。
- **建設業の魅力**をPRし、将来の担い手の確保につなげるため、児童・生徒などを対象とし、三次元空間をデザインするゲーム（**マイクラフト**）で道路や建物の制作技術を競う**コンテスト**を行います。
- **誰もが利用しやすい駅**となるよう、エレベーターやホームドアなどの**バリアフリー設備**の整備に対する助成について新たな料金制度を踏まえた拡充を行い、整備促進を図ります。
- **地域公共交通**における**デジタル技術**を活用した**交通サービス**の導入を促進するため、市町村等が行う**実証実験**を支援します。
- 「**県有建物長寿命化計画**」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の県有建物について、建替えや大規模改修、計画保全等に取り組みます。

<主な事業>

- ・道路ネットワーク事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ） 80,251,253千円（別冊 84頁）
（債務負担行為 35,471,000千円）
- ・港湾事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ） 7,178,612千円（別冊 85頁）
（債務負担行為 1,361,000千円）
- ・建設業の魅力発信推進事業【新規】 13,000千円（別冊 86頁）
- ・鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助 150,000千円（別冊 87頁）
（債務負担行為 2,000千円）
- ・新モビリティサービス導入推進事業 18,000千円（別冊 88頁）
- ・県有建物長寿命化対策事業 20,443,043千円（別冊 89頁）
（債務負担行為 18,426,000千円）
（継続費 14,486,000千円）

3 未来を支える医療・福祉の充実

(1) 医療提供体制の充実と健康づくりの推進

<医療提供体制の充実>

- 地域医療を支える医師・看護師等を確保するため、修学資金の貸付や若手医師のキャリア形成支援、医師少数地域への医師派遣や産科医・女性医師の就労に対する支援を行うとともに、**地域医療を目指す医師の育成**のために設置した**千葉大学医学部の講座**について、実習を受け入れる地域病院を増やします。
- 地域の医療提供体制を維持するため、令和5年度から、**診療所の承継**への支援や**医師少数地域**で働く医師に対する**経済的支援**を行うとともに、**周産期母子医療センターの医師確保**のための研修への支援や**訪問看護職員の技術向上**を図る研修も実施します。
- 通院の負担が大きい**発達障害児等**を対象とした**オンライン診療**の推進を図る**モデル事業**や、圏外の医師も活用しながら**24時間の往診体制の構築**を目指す**モデル事業**を実施します。

<主な事業>

・医師確保関係事業	1,030,400千円（別冊 90頁）
・地域医療教育学講座設置事業	40,400千円（別冊 91頁）
・診療所承継支援事業【新規】	5,000千円（別冊 92頁）
・医師少数区域における勤務の推進事業【新規】	8,300千円（別冊 93頁）
・周産期母子医療センター医師確保事業【新規】	8,000千円（別冊 94頁）
・教育用訪問看護ステーション運営事業【新規】	5,000千円（別冊 95頁）
・発達障害児等のためのオンライン診療推進モデル事業【新規】	4,000千円（別冊 96頁）
・往診体制広域連携支援モデル事業【新規】	50,000千円（別冊 97頁）

<健康づくりの推進>

- がん患者の生活の質の向上を図るため、**アピアランスケア**や**若年がん患者の在宅療養**を支援します。
- **骨髄移植**等の治療により免疫が消失した方について**定期予防接種の再接種費用**を支援します。

<主な事業>

・がん患者QOL向上事業【新規】	22,000千円（別冊 98頁）
・定期予防接種ワクチン再接種費用助成事業【新規】	1,000千円（別冊 99頁）

(2) 高齢者福祉と障害者福祉の充実

<高齢者福祉の充実>

- 高齢化が進行する中、**特別養護老人ホーム**等の施設整備を促進するため、引き続き**県単独の助成**を行うほか、**認知症の支援体制**を構築するため、相談体制を強化するとともに、人材育成研修を拡充します。
- **介護事業所**における業務の効率化や利用者サービスの向上を図るため、**I C T**や**介護ロボット**の導入に取り組む事業者を支援します。特に令和5年度は、利用者の日常生活動作や生活の質の維持向上を図るため、**コミュニケーションロボット**を導入する**モデル事業**を実施します。

<主な事業>

- ・老人福祉施設整備事業補助 3,666,000千円 (別冊 100頁)
(債務負担行為 2,781,000千円)
- ・認知症対策支援事業 127,892千円 (別冊 101頁)
- ・介護事業所における I C T・ロボット導入支援事業【一部新規】
271,000千円 (別冊 102頁)

<障害者福祉の充実>

- 老朽化・狭隘化している**千葉リハビリテーションセンター**の**再整備**について、令和5年度から建設工事に着手します。
- **医療的ケア児等の支援体制**の強化を図るため、中核的な役割を担う**医療的ケア児等支援センター**に**看護師**を配置して相談体制を強化するとともに、在宅で医療的ケア児等の介護を行う**家族の負担を軽減**するため、**短期入所事業所**の開設を支援します。

<主な事業>

- ・千葉リハビリテーションセンター再整備事業 27,600千円 (別冊 103頁)
(債務負担行為 110,000千円)
(継続費 14,486,000千円)
- ・医療的ケア児等に対する支援の充実 169,199千円 (別冊 104頁)
- ・医療型短期入所事業所開設支援事業【新規】 16,000千円 (別冊 105頁)

4 子どもの可能性を広げる千葉の確立

(1) 子育て施策の充実

- 子どもの資質や能力を一層育むため、「自然保育」をはじめ保育の質の充実に向けた取組を推進します。
- 結婚支援を含む少子化対策に県全体で取り組むため、県と市町村で構成する協議会を設置するとともに、市町村と連携したセミナー等を行います。
- 子ども医療費助成について、頻回受診や長期入院の子を持つ世帯を支援するため、令和5年8月から制度を拡充し、自己負担の上限額を導入します。
- 児童虐待防止対策について、引き続き児童相談所職員を増員するとともに、児童相談所の新設・建替え、児童相談所の業務改善、関係職員への研修などに総合的に取り組みます。特に令和5年度は、児童相談所職員の採用広報を強化するほか、里親養育包括支援機関を活用した里親委託の推進や子ども家庭110番の体制強化に取り組みます。
- ヤングケアラーの支援体制を強化し、適切な支援に繋げるため、関係機関職員向けの研修を引き続き実施するほか、相談窓口や当事者同士が悩みを相談しやすい場を設置します。
- 児童養護施設等を退所する児童が経済的事情に関わらず進学できるよう、民間資金を活用した給付型の奨学金制度を創設します。
- 極低出生体重児等の成育を支えるため、専用の母子手帳として「リトルベビーハンドブック」を作成します。

<主な事業>

・保育の質の充実に向けた取組の推進【新規】	24,400千円（別冊 106頁）
・地域少子化対策重点推進事業【一部新規】	219,636千円（別冊 107頁）
・子ども医療費助成事業	6,800,000千円（別冊 108頁）
・児童相談所の機能強化【一部新規】	986,898千円（別冊 109頁） (債務負担行為 3,732,000千円)
・児童虐待防止対策事業	591,405千円（別冊 110頁）
・ヤングケアラー支援体制強化事業【一部新規】	21,452千円（別冊 111頁）
・児童養護施設等退所児童に対する奨学金制度補助事業【新規】	3,000千円（別冊 112頁）
・リトルベビーハンドブックの作成【新規】	3,000千円（別冊 113頁）

(2) 教育施策の充実

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、**私立学校経常費補助**について、**県単独の補助単価**を**高校、幼稚園**ともに**2000円**ずつ引き上げます。
- 多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、**市町村**と連携し、**第3子以降**の義務教育期間における**学校給食費**を**無償化**します。
- **理数教育**や**技能教科**の指導の充実を図るため、**県独自の専科教員**等の配置を公立小学校**140校**に拡充するとともに、**塾講師**を活用して**算数の専科指導**を行う**モデル事業**を実施します。
- **高校生**の情報活用能力の向上を図り、**デジタル社会**で求められる人材を育成するため、実践的な課題に取り組める**デジタル教材**を**モデル的に導入**します。
- **県立高校の授業**において**ICT**を効果的に活用するため、**モデル校**を巡回して授業改善を行う**専門人材**を配置します。
- 学校における実践的な**キャリア教育**を推進するため、本県が抱える課題の原因分析のための**調査**を行うとともに、**県立高校の普通科**において**キャリアデザインを学ぶプログラム**をモデル的に実施します。
- 生涯にわたり必要な知識を学び直す**リカレント教育**を推進し、社会に求められる産業人材の育成につなげるため、**産学官の連携体制**を構築するための**協議会**を設立するとともに、学び直しの動機付けとなる講座を実施します。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、**小学校と高校**における**スクールカウンセラー**の配置を拡充するとともに、課題を抱える**高校生**が校内で気軽に相談できる**居場所づくり**も拡充します。
- 性暴力等の被害を受けた**児童生徒の保護**を図るとともに、加害教職員に対し厳正な処分を行うため、**外部専門家による調査**を実施する体制を構築します。
- **深刻な教員不足の解消**を図るため、**人材サービス会社**と連携して教員志願者に訴求力の高い**採用プロモーション**を行うとともに、**千葉大学教育学部**と共同で抜本的な教員確保策の検討に向けた**モデル事業**を実施します。
- 教員の長時間勤務を改善するため、**スクール・サポート・スタッフ**を増員するとともに、**民間のノウハウ**を活用した**業務改善**に取り組むほか、**休日部活動**の段階的な**地域移行**に向け、**人材バンク**を設置するなど、市町村の取組を支援します。

- **県立学校のトイレ改修**について、設計と工事をまとめて発注する**デザインビルド方式**の導入を進め、工事の前倒しを図ることで、**令和11年度までに全てのトイレを洋式化**します。また、学習環境の改善を図るため、**県立高校の特別教室**における**空調整備**を進めます。
- **特別支援学校の過密解消**を図るため、整備計画に基づき、**新設校の設置**に向けた改修工事を行います。

<主な事業>

・私立学校経常費補助（一般補助）	32,619,435千円（別冊 114頁）
・公立学校給食費無償化事業	1,165,000千円（別冊 115頁）
・小学校専科非常勤講師等配置事業【一部新規】	406,000千円（別冊 116頁）
・Society5.0時代を支えるデジタル人材育成事業【新規】	33,140千円（別冊 117頁）
・学校DX推進パートナー配置事業【新規】	35,000千円（別冊 118頁）
・キャリア教育の推進【一部新規】	38,105千円（別冊 119頁）
・リカレント教育の推進【新規】	3,700千円（別冊 120頁）
・学校におけるいじめ対策・不登校児童生徒支援の推進	1,264,462千円（別冊 121頁）
・課題を抱える高校生の居場所設置・相談支援事業	15,000千円（別冊 122頁）
・教職員による児童生徒への性暴力等に係る対策事業【新規】	4,497千円（別冊 123頁）
・教員不足解消に向けた緊急対策事業【新規】	40,000千円（別冊 124頁）
・教員の多忙化対策の推進【一部新規】	482,000千円（別冊 125頁）
・部活動の地域移行に向けた環境整備事業【新規】（4年度2月補正・5年度当初あわせ）	95,714千円（別冊 126頁）
・県立学校トイレ改修事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ）	1,209,100千円（別冊 127頁） （債務負担行為 607,000千円）
・県立学校空調設備整備事業（4年度2月補正・5年度当初あわせ）	1,332,025千円（別冊 128頁） （債務負担行為 1,528,000千円）
・特別支援学校整備事業	77,659千円（別冊 129頁） （債務負担行為 337,000千円）

5 誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現

- **SDGs**や**ダイバーシティ**を推進するため、県内企業等を対象とした「**ちばSDGsパートナー登録制度**」の登録促進を図るとともに、市町村職員や県内企業に対するセミナーを実施します。
- **仕事と家庭の両立支援**や**女性の登用・職域拡大**に向け、積極的・先進的な取組を行う企業等を表彰するなど、引き続き**男女共同参画**にかかる広報啓発を行うほか、**外国人と日本人が共に地域社会の一員**として活躍できる地域づくりを推進するため、**地域日本語教室**を開催する市町村の支援を拡充します。
- 全ての県民を対象として福祉全般の相談に24時間365日体制で対応する**中核地域生活支援センター**について、令和5年度から体制を強化し、自ら相談場所に赴けない方のために**訪問相談**を充実します。
- **市町村**が福祉全般にわたる相談を**ワンストップ**で受け支援につなげていく**重層的支援体制**を構築できるよう、市町村に対する支援を拡充します。

〈主な事業〉

・持続可能な地域づくりに向けた連携推進事業	1,200千円（別冊 130頁）
・男女共同参画広報啓発事業	4,300千円（別冊 131頁）
・地域日本語教育推進事業	13,300千円（別冊 132頁）
・中核地域生活支援センター事業	344,702千円（別冊 133頁）
・重層的支援体制構築事業【一部新規】	52,000千円（別冊 134頁）

6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(1) 千葉の魅力の向上と活用

- 地域の活性化に向けた取組を推進するため、県や市町村、関係団体等が連携して地域振興策を検討します。
- 二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、インフルエンサーによるSNSでの発信や都内における本県専任の移住相談員の配置を引き続き行います。また、令和5年度は、情報発信を強化するため、県内各市町村の移住関連情報を一元的に発信するポータルサイトを作成します。
- 少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業と副業人材のマッチングを行い、地域の課題解決につながる企業の取組を支援します。
- 三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を生かし、千葉県のある海の魅力を県内外に発信します。特に令和5年度は、「千葉の海・大使」を任命するなど魅力発信を一層推進するとともに、県内の小学生が海にまつわる歴史・文化等を学ぶための「海の副読本」を作成します。

<主な事業>

・地域づくり推進事業	12,000千円（別冊 135頁）
・移住・定住促進事業【一部新規】	49,922千円（別冊 136頁）
・副業人材マッチング支援事業【新規】	13,000千円（別冊 137頁）
・千葉の海の魅力発信事業【一部新規】	165,000千円（別冊 138頁）

(2) 環境の保全と豊かな自然の活用

- **家庭**におけるCO₂排出量削減や災害時の電源確保を図るため、**燃料電池・蓄電池**の設置や**電気自動車・V2H充放電設備**(※)の導入に対し引き続き支援します。令和5年度から、**集合住宅**における**充電設備**の導入も支援の対象に加えます。

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

- **産業部門**における**カーボンニュートラル**の取組を推進するため、中小企業が行う**省エネ診断**や**設備更新**を支援するとともに、事業者が建築する**事務所等へのZEB**(※)の導入を支援します。

※ZEB…Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

- **運輸部門**における**脱炭素化**を進めるため、**地域公共交通**等の事業者が行う**次世代自動車**や**充電等設備**の導入を支援します。
- **電気自動車**で観光できる環境の整備に向け、自動車の利用が多い**観光地**において、**充電設備**の設置促進や**充電場所**が分かる**WEBサイト**の作成などを行う**モデル事業**を実施します。
- 生息数が増加している**キョン**の効果的な捕獲方法の開発に取り組むなど、**特定外来生物対策**を強化するとともに、**印旛沼**や**手賀沼**などにおいて急速に繁茂している**外来水生植物**の**計画的な駆除**を進めます。
- 将来を担う若い世代が**環境保全活動**の主体となる機会を創出するため、企業等と協力して、**若者自らが企画した活動**を支援します。

<主な事業>

・住宅用設備等脱炭素化促進事業【一部新規】	418,000千円 (別冊 139頁)
・事業者向け脱炭素化促進事業【新規】	565,000千円 (別冊 140頁)
・事業者向け次世代自動車等導入促進事業【新規】	70,000千円 (別冊 141頁)
・観光地におけるEV急速充電スタンド導入促進モデル事業【新規】	1,500千円 (別冊 142頁)
・外来種特別対策事業	157,755千円 (別冊 143頁)
・湖沼における外来水生植物対策事業	329,316千円 (別冊 144頁)
・若者が主役の環境保全活動応援事業【新規】	3,500千円 (別冊 145頁)

(3) 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

<千葉県誕生150周年記念事業>

- 本県ならではの文化資源や魅力の発信を通じて、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、**県内市町村**が企画・実施する**千葉県誕生150周年記念イベント**を支援します。
- 幅広い世代の県民がふるさと千葉の魅力を再発見できるよう毎年開催している「**県民の日**」の記念行事について、令和5年度から6年度にかけては**千葉県誕生150周年記念事業の一環**として実施します。令和5年度は、県民参加・体験型の**オープニングイベント**を**松戸市**で開催します。
- 千葉県誕生150周年を記念して、**株式会社オリエンタルランド**と連携した**文化イベント**を実施します。
- 東京2020大会を契機に、本県がホストタウンとなった**オランダ王国**との文化交流を深めるため、千葉県誕生150周年記念事業として、オランダ出身の世界的アーティストである**テオ・ヤンセン氏**の企画展を**県立美術館**で開催します。
- このほか、150周年記念事業として、**千葉交響楽団**によるコンサートや**中央博物館**における特別展、**記念誌**の作成、各種イベントと連携した県内観光や県産農水産物のPRなどを行います。また、**産業系高校**や**特別支援学校**において150周年を記念した作品制作などに取り組みます。

<主な事業>

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ・千葉県誕生150周年記念事業の開催 | 467,000千円 (別冊 146頁) |
| ・「県民の日」事業 | 75,000千円 (別冊 147頁)
(債務負担行為 38,000千円) |
| ・千葉県誕生150周年・株式会社オリエンタルランドとの連携事業【新規】 | 11,000千円 (別冊 148頁) |
| ・オランダとの文化交流事業【新規】 | 20,000千円 (別冊 148頁) |
| ・千葉県誕生150周年記念コンサート【新規】 | 5,000千円 (別冊 148頁) |
| ・中央博物館特別展の開催 | 34,600千円 (別冊 148頁)
(債務負担行為 20,000千円) |
| ・千葉県誕生150周年記念誌の作成【新規】 | 3,000千円 (別冊 148頁)
(債務負担行為 13,000千円) |
| ・千葉県誕生150周年記念観光振興事業【新規】 | 150,000千円 |
| ・千葉県誕生150周年記念県産農水産物PR事業【新規】 | 23,500千円 |
| ・産業系県立高等学校における千葉県誕生150周年記念事業【新規】 | 1,500千円 (別冊 148頁) |
| ・特別支援学校における記念製品制作事業【新規】 | 8,200千円 (別冊 148頁) |

<文化芸術の振興>

- 本県芸術文化の将来の担い手を育成するため、才能豊かな**新進アーティスト**の**キャリア形成**を支援します。
- 県内唯一のプロオーケストラである**千葉交響楽団**について、演奏活動を通じて県民から広く支持されることで経営基盤を確立し、本県芸術文化の発展に貢献できるよう、積極的に公演回数を増やしていきます。
- 世界水準の価値を有する国指定天然記念物「養老川流域田淵の地磁気逆転地層（**チバニアン**）」について、市が行う**見学施設**などの整備を支援します。
- 開館から30年以上が経過した**中央博物館**について、県内の博物館活動の拠点としての役割強化に向け、**施設改修**や**展示内容の見直し**を検討します。

<主な事業>

- | | |
|------------------------------------|--|
| ・アーティスト・フォローアップモデル事業【新規】 | 12,000千円（別冊 149頁）
（債務負担行為 16,000千円） |
| ・千葉交響楽団関連事業【一部新規】 | 81,747千円（別冊 150頁） |
| ・国際境界模式地（G S S P）関係遺産保存活用等支援事業【新規】 | 30,000千円（別冊 151頁） |
| ・中央博物館リニューアル事業 | 35,000千円（別冊 152頁） |

<スポーツの振興>

- 「**ちばアクアラインマラソン**」について、**令和6年度の開催**に向け、運営方法の検討や広報などの準備を進めます。
- 東京2020大会のレガシーとして本県で**サーフィン**を楽しむ人を増やすとともに、地域の活性化を促進するため、地元市町村等と連携して**サーフィン体験会**や**サーフ文化の発信イベント**を行います。
- 東京2020大会のレガシーとして**パラスポーツ**の普及を図るため、**パラアスリートの学校訪問**について、訪問先を県内の**小中学校**に加え、**特別支援学校**にも拡大します。
- あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツやアーバンスポーツなどの「**新たなスポーツ**」の普及促進に取り組みます。
- **総合スポーツセンター体育館**について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性向上を図るため、**現地建替え**に向けた設計を進めるとともに、**障害者スポーツ・レクリエーションセンター**について、利用環境の改善を図るため、**体育室の空調設備**の工事に着手します。

<主な事業>

- ・ちばアクアラインマラソン開催事業 49,000千円 (別冊 153頁)
(債務負担行為 137,000千円)
- ・外房サーフィン振興事業【新規】 10,000千円 (別冊 154頁)
- ・パラスポーツ振興事業 52,600千円 (別冊 155頁)
- ・「新たなスポーツ」の普及促進事業 14,000千円 (別冊 156頁)
- ・総合スポーツセンター体育館整備事業 158,678千円 (別冊 157頁)
(債務負担行為 160,000千円)
- ・障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業 7,700千円 (別冊 158頁)
(債務負担行為 193,000千円)

7 くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用

- 県民の利便性向上を図るため、納付書や収入証紙などによる**各種納付手続**について、デジタル技術を活用し積極的に**キャッシュレス化**を進めます。
- 段階的に進めている**県立学校の入試手続のオンライン・キャッシュレス化**について、**令和6年度の全校実施**に向け、対象校を拡大します。
- **運転免許手続**の利便性向上を図るため、令和5年12月から事前予約や自動受付ができるよう、**システム整備**を進めます。
- 県民サービスの向上につながる効率的な契約事務を実現するため、**電子契約**を**試験的に導入**します。
- 県全体のデジタル化の推進を図るため、**民間のデジタル専門人材**を活用しながら、令和7年度までに**市町村が行うシステムの標準化・共通化**に対し、**専門的・技術的な支援**を行います。
- 県民サービスの一層の向上を図るため、デジタル技術を活用した**県庁の業務改革**や**議会業務のICT化**を進めます。
- **マイナンバーカード**の更なる普及促進に向け、**商業施設等への窓口設置**や**高齢者施設等への訪問**により、カードの申請手続をサポートします。
- 担い手不足などの課題を抱える**建設業**において、生産性の向上を図るため、**デジタル技術の導入**を促進するとともに、**事故や災害を未然に防止**するため、デジタル技術を活用した**インフラ管理**に取り組みます。

<主な事業>

・納付手続のキャッシュレス化の推進【一部新規】	145,000千円（別冊 159頁）
・県立学校の入試手続のオンライン・キャッシュレス化	8,095千円（別冊 160頁）
・運転免許手続の利便性向上【一部新規】	880,149千円（別冊 161頁）
	（債務負担行為 185,000千円）
・電子契約実証事業【新規】	4,200千円（別冊 162頁）
・市町村デジタル推進支援事業	29,500千円（別冊 163頁）
・デジタル技術の活用等による業務改革の推進【一部新規】	173,623千円（別冊 164頁）
・議会業務ICT化推進事業【一部新規】	24,800千円（別冊 165頁）
・マイナンバーカード申請サポート事業【新規】（4年度2月補正・5年度当初あわせ）	84,000千円（別冊 166頁）
・インフラ分野のDXの推進【一部新規】	371,750千円（別冊 167頁）